

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】 離れていてもその道のプロとつながる情報活用能力の育成

1年生:総合的な学習の時間
「学校での避難生活は地域の人にとって安心？
～自分たちができることを考えよう～」

久喜市の危機管理監である宮本さんに来校していただき、防災学習の導入として、ハザードマップを用いた授業を1クラスで実施。その他5クラスはオンラインで授業の様子を見て、後半は各クラスからの質問を全クラス周って回答していただいた。

Chromebookを見ながら、ハザードマップにメモをするなど学習環境が整った中で、専門の方の話を聞いた。その後の学習に意欲的に取り組む生徒の姿が多く見られた。



3年生:総合的な学習の時間
「旅行会社の社員として企画書をつくろう」

修学旅行の振り返りとして各行動班で企画書をGoogleスライドの共同編集で作成し、発表をした。各クラスの代表班が作成した企画書を旅行会社の中学校修学旅行担当の方へ送信し、審査をしていただいた。

繁忙期につき予定が合わず、実際に来校はしていただけなかったものの、グランプリや準グランプリなどの賞が選んでいただき、さらに各班の企画書にプロからの視点での講評も送っていただいた。



ノミネート作品③ 5組2班

メンバー:

ポイントを絞り、文字を大きくすることによりインパクトもあり見やすいですね。

全体を通して写真のチョイスもバランスが取れていて非常にいいですね。

あえていうなら表紙にある「ゆったり、ゆったり、のんびり」が企画書の中にあるととっても良かったと思います。

